

# 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立敷島中学校

## ■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

## ■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は3年に1度の調査となり、今年度は理科が調査対象でした。）

## 1 調査結果について

### ■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

・国語の平均正答率は全国平均並みであり、一定の定着がみられます。知識及び技能については、全国平均をやや下回り、思考力・判断力・表現力については、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域では全国平均並みかそれ以上の結果でした。ただし、「読むこと」はやや下回っていました。また、問題形式（選択式、短答式、記述式）では、選択式と短答式において全国を上回っているが、記述式では全国を下回っていました。解答内容では、自分の考えを表現することができずに正答に当てはまらなかったことが読み取れます。選択式や短答式での正答率が高いことを考えると、自分の考えに自信をもって記述することに対して苦手意識をもっていると推測できます。

・数学の平均正答率は全国よりも高く、一定の定着がみられます。全ての学習の領域（数と式、図形、関数、データの活用）で平均正答率は全国を上回っています。特に、「図形」領域はより高い定着がみられ、学習の成果が読み取れます。また、問題形式では、短答式と記述式において全国を上回っていますが、選択式では全国を下回っています。「数学の勉強は得意ですか」「数学の勉強が好きですか」に肯定的な回答をした生徒の割合はともに全国を下回っており、数学を苦手と感じている生徒は多いといえますが、「数学の問題のときかたがわからないときは、あきらめずいろいろな方法を考えていますか」という質問に肯定的な回答をした生徒の割合は全国平均より高く、あきらめず解決しようとする意欲があることが読み取れます。

・理科の平均正答率は、全国よりやや低く、一定の定着がみられるものの、課題がみられます。「生命」については平均正答率が高いものがみられます。「粒子」についての思考・判断・表現が弱い傾向がみえています。「理科の授業は好きですか」の問いに「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」を多くの生徒が回答し、理科の学習に対する意欲関心は高いと言えます。

### ■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

・よい傾向が認められる項目

多くの項目で全国平均を上回っています。特に「先生はあなたのよいところを認めてくれている」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」「人の役に立つ人間になりたいと思う」「学校に行くのは楽しい」「新聞を読んでいる」「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」「授業におけるICT機器の使用頻度」等について高い数値を示しています。

・課題となる項目

「将来の夢や目標を持っていますか」「1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（平日、休日）」については、全国平均よりも低い傾向がみられました。

## 2 これからの取組について

### ■学校で取り組んでいくこと

・学習したことを繰り返し復習し、基礎を定着させながら、学習したことをどう活かしていけばよいか、考え、判断し、活用していく力を育てます。また、学級活動を含め、全教科で言語活動を充実させるなどの工夫を行い、自分の考えを書いたり発表したりする授業を多く取り入れていきます。

・国語の授業では、授業への肯定感を生かし、生徒が苦手としている記述を授業に多く取り入れていきます。素材を選択して、自身の記述に用いる問題や、自身の考えを具体的に説明するような問題を授業で出題していきます。

・数学の授業では、基本的・基礎的なことを学ぶ際に、日常生活に関係する題材を用いて考えさせ、興味をもって取り組めるようにしていきます。また、ICT等を活用しながら授業の中でこれまでの学習の復習をする場面を取り入れていきます。また、協働的な学びを充実させ、学び合い教え合いができるようにしていきます。さらに、生徒が生徒に説明する場面を多く取り入れながら「思考・判断・表現」の学力が定着できるようにします。

・理科の授業では、日常生活の現象と結びつけたり、知識を活用する問いを考えさせます。小グループを用いて実験の結果を分析、解釈させ、自ら法則性を見出す活動をしていきます。これらの活動によって、「思考・判断・表現」の力が定着するようにします。

### ■家庭において取り組んでいただきたいこと

・生徒自身の長所や将来の夢や希望等について、親子で話し合う機会をつくっていただきたいと思います。

・学習時間を子どもと一緒に決め、計画的に学習に取り組めるように声をかけてあげてください。